

平成16年（行ウ）第20号 ハッ場ダム費用支出差止等請求住民訴訟事件

原告 柏 村 忠 志 外20名

被告 茨 城 県 知 事 外1名

上 申 書

2008（平成20）年7月3日

水戸地方裁判所 民事第2部 御 中

原告ら訴訟代理人

弁護士 谷 萩 陽 一
外

平成20年7月15日に予定されている証人尋問期日について原告らで調整した主尋問時間及び尋問の順番を上申するとともに、別紙のとおり尋問事項書を提出する。

| 【7月15日】（利水関係） | 主尋問 |
|----------------|------|
| ① 嶋津暉之 | 70分 |
| ② 河崎和明（国交省職員） | 90分 |
| ③ 早乙女秀男（茨城県職員） | 70分 |
| 合計 | 230分 |

以 上

尋問事項書

河 崎 和 明

1 身上・経歴

国土交通省での経歴を述べて下さい。

2 利根川の河川整備計画等について

- ① 利根川の河川整備計画の策定は、なぜこれまでなされていないのですか？
- ② 学識経験者の意見を聴かねばならなくなったはずだが、学識経験者は、誰が、どのような基準で選択したのですか？
- ③ 関係住民の意見を反映させるためにどのような事を行ったのですか？

3 八斗島地点 22,000 m³/秒の根拠

- ① 利根川改修改定計画の際の、カスリーン台風の時の八斗島地点における流量 17,000 m³というのは、上流 3 地点の実測値からの推定をしたということですか？
- ② これは、どのような根拠に基づいて、どのような計算をしたのですか？
- ③ 国土交通省では、カスリーン台風の時、八斗島上流域で相当量の氾濫が生じていた状態であったという認識ですね？
- ④ 上流域での氾濫の根拠資料はありますか？
- ⑤ 氾濫した区域の資料はありますか？
- ⑥ 上流域での氾濫の量はどれくらいだったのですか？
- ⑦ カスリーン台風の時の上流域の堤防決壊箇所は何箇所でしたか？
- ⑧ 上流域で決壊した箇所は具体的にどこどこですか？
- ⑨ 上流域で決壊した箇所を示す資料はあるのですか？
- ⑩ 昭和 22 年以降、利根川本川上流域や烏川流域でどのような災害復旧工事、改修工事が行われたのですか？
- ⑪ 昭和 22 年以降、利根川本川上流域や烏川流域で新たに作られた堤防はありますか？
- ⑫ あるとすれば、具体的にどの地点ですか？
- ⑬ 昭和 22 年以降、烏川流域も含めて利根川上流域で、新たに都市化された地域は、流域面積の何%ですか？
- ⑭ 減った山林や農地はどれくらいですか？
- ⑮ 利根川水系工事実施基本計画(昭和 55 年)の時の基本高水ピーク流量 22,000 m³と、前記の 17,000 m³とを比べて、増加した 5000 m³の具体的な根拠は何ですか？
- ⑯ 17,000 m³との差 5000 m³は、何を意味しているのですか？
- ⑰ 「利根川上流域における昭和 22 年 9 月洪水(カスリーン台風)の実態と解析」(利根川ダム統合管理事務所、昭和 45 年 4 月)では、基本高水ピーク流量 26,900 m³と

いう数字を出したこともありますね？

- ⑱ この時には、沼田ダムを計画していましたね？
- ⑲ 昭和55年の利根川工事実施基本計画では、26,000 m³から22,000 m³に約5000 m³も減少していますが、この理由は何ですか？
- ⑳ 平成16年に国土交通省は、「利根川上流管内浸水予定区域検討業務報告書」と言うのを作りましたね？
- 21 この報告書では、現況の洪水調節施設を前提にすれば、八斗島地点の洪水ピーク流量は16,750 m³/秒となっていますね？
- 22 既設六ダムの八斗島地点における洪水調節量は1749 m³/秒でいいですね？
- 23 基本高水流量が22,000 m³で、既設6ダムの洪水調節量が1749 m³で、洪水ピーク流量が16,750 m³だとすると、その差3501 m³は、現在、どういうことになるのですか？
- 24 八斗島地点上流部の氾濫箇所、氾濫箇所別流量、氾濫区域、洪水調節施設の調節効果のデータなどの根拠資料は、関東地方整備局にはあるのではないですか？
- 25 平成19年8月6日に、関東地方整備局は、さいたま地裁に対して「そのような資料はない」と言う回答を行っていますね？
- 26 なぜ根拠資料がないのですか？

4 森林の効果について

- ① 森林には、貯水能力だけでなく、流出速度を遅らせるという効果もあるのではないですか？
- ② 森林の貯水能力は、大洪水にあっても、中小洪水の範囲であれば、貯水能力を発揮するのではないですか？
- ③ 大洪水にあっても、森林がないときよりも、森林があれば、貯水能力を発揮するのではないか？

5 利根川の治水計画について

- ① 八斗島上流での八ツ場ダム以降の洪水調節施設計画は、現状ではどのようになっていますか？
- ② 次のダムにいつ着手するのですか？
- ③ 具体的な次のダムの計画はあるのですか？
- ④ 国土交通省自身、次のダムはもう作れないと思っているのではないですか？
- ⑤ 平成17年12月6日の国交省の河川整備基本方針検討小委員会で、布村河川計画課長が「利根川上流では八ツ場ダムが最後のダムだ」と発言しているのを知っていますね？
- ⑥ 平成18年2月に利根川水系河川整備基本方針が策定されましたね？
- ⑦ その中で、「河川整備施設等の整備の現状」と言う文書がありますね？

- ⑧ そこでは、利根川上流の治水容量不足が3億5000万 m^3 となっていますね？
- ⑨ 元々、治水容量不足は5億1460万 m^3 ではなかったのですか？
- ⑩ どうして1億6480万 m^3 も減ったのですか？
- ⑪ 利根川放水路は、いつ建設に着手するのですか？

6 八ツ場ダムの治水効果

- ① 吾妻川上流域の1/200確率の3日雨量は、319mmということでしょうか？
- ② このくらいの雨が降ると、八ツ場ダム地点では、毎秒どれ位の流量が出るのですか？
- ③ 八ツ場ダム計画では、3900 $\text{m}^3/\text{秒}$ の流量が流れ、2400 $\text{m}^3/\text{秒}$ の洪水をダムでカットする計画ですね？
- ④ 平成13年9月の台風15号の時、吾妻川流域で3日雨量340mm程度の雨が降ったのを知っていますか？
- ⑤ その時、八ツ場ダム地点で、どれ位の量の流量が流れたか知っていますか？
- ⑥ 平成19年9月の台風9号の時、吾妻川流域でどれ位の雨が降ったか知っていますか？
- ⑦ 平成20年5月27日、石関貴史衆議院議員の質問趣意書に対して、政府は6月6日付けで答弁書を出したことを知っていますか？
- ⑧ その中で、国が、カスリーン台風の際の八斗島地点における流出計算をしたことを知っていますか？
- ⑨ 八斗島地点の洪水のピーク流量に対して、八ツ場ダムは効果があったのですか？
- ⑩ 八ツ場ダムの洪水調節効果は、八斗島地点で何 m^3 となるのですか？
- ⑪ それは、八斗島地点の水位で言うと、何mとなるのですか？
- ⑫ 平成19年12月21日に事業評価監視委員会が開かれるに当たり、八ツ場ダムの費用便益計算が行われましたね？
- ⑬ 八ツ場ダムの費用便益はどのような結果になりましたか？
- ⑭ その際の計算根拠は、どのような資料によりましたか？
- ⑮ その際の算出のための資料は、その後どうしたのですか？
- ⑯ 平成20年6月3日の参議院財政金融委員会での富岡由紀夫議員の質問に対して、国土交通省の回答は、その資料が現在見当たらない、というものだったということを知っていますか？

7 その他関連事項

以上

尋問事項書

早乙女 秀男

- ① 身上・経歴
- ② 昭和55年度の利根川水系工事実施基本計画の改定時に茨城県内部でどのような検討を行ったか。
- ③ 平成7年度の八ッ場ダム基本計画の策定時に茨城県内部でどのような検討を行ったか。
- ④ 平成13年度の八ッ場ダム基本計画変更時に茨城県内部でどのような検討を行ったか。
- ⑤ 平成15年度の八ッ場ダム基本計画変更時に茨城県内部でどのような検討を行ったか。
- ⑥ 平成19年度の八ッ場ダム基本計画変更時に茨城県内部でどのような検討を行ったか。
- ⑦ 国土交通大臣からの納付命令に対して、茨城県がこれに応じて支出を決定した際に、茨城県内部において、当該納付命令が河川法63条の要件を充足しているか否かについて、どのような検討をしたか。
- ⑧ その他本件に関連する一切の事実